

- 移住者インタビュー
- 諏訪市子育て移住

## 都会と田舎の“いいとこどり”。色々な顔を持つまちの魅力。

2020年の夏に東京から家族で移住してきたCさんご家族。ご主人は東京の会社に在籍しながら、諏訪市の自宅で完全リモート勤務。奥様は市内の会社に転職を決めて、諏訪市に移住しました。移住のきっかけや諏訪市の印象を奥様に伺いました。



—諏訪市への移住を考え始めたきっかけはなんですか？

大学進学を機に東京に出て、都内の会社に就職して、結婚して・・・出身地よりも長く東京に住んでいたことになります。新宿区、渋谷区、豊島区、北区とライフステージに応じて住居を変えながら、20年以上都内で暮らしてきました。私も夫も、美術館や劇場・映画館が沢山あって、観る物に事欠かないといった都会の暮らしが好きでした。逆にアウトドアやスポーツは苦手な、自然を求めてといった感じではないです。

きっかけは、子どもが生まれたことです。子育てを優先すると、夫婦の楽しみだった、劇場通いや、夜気軽に飲み歩くといったことが、出来なくなりました。そうになると、東京に暮らす魅力が私たちの中で薄れていったのです。子どものことを想うと「もう少し、空が広い場所で育てたいなあ」と考えるようになりました。

私には長野県って『教育県』っていうイメージがあって、ちょうど佐久穂町や軽井沢に新しい進歩的な小学校も設立されて、そういうことも重なって、子どものために移住するなら、長野県が良いのかもって漠然と思ったのが最初です。

—諏訪市に、というわけではないのですね

そうですね(笑)。実際、最初は上田市とか、佐久市とか、新幹線沿いの市町村へ移住することを考えていました。東京との繋がりを完全に断たれるのは怖くて、気軽に上京できる場所が良いなあと思ってたのかもしれない。

移住するには仕事を決めなくては、というのも大きな問題でした。諏訪市のことを最初に意識したのは、有楽町のふるさと回帰支援センターを訪れたときです。今、お世話になっている会社が求人を出していることを知って、前職の経験を活かせそうな場所だったから「出すだけ出してみるか」と軽い気持ちで応募してみました。その後は、あれよあれよと思う間もなく、面接に進んでいました。面接した帰り際には、もう「採用するつもりです」とも言っていただけで(笑)。

私は、面接日に初めて諏訪市を訪れた位でしたから、本当に、ご縁があったというか、勢いがあったというか。

結局、諏訪市に移住を決められたのは、特急あずさを使えば2時間程度で東京に出られることと、実は、松本市が近かったことが決め手になっています。長野県内では都市にあたる街が近くにある印象だったのですが、これは実際に住んでみると、松本はそこまで近いわけでも無い、かな(笑)。





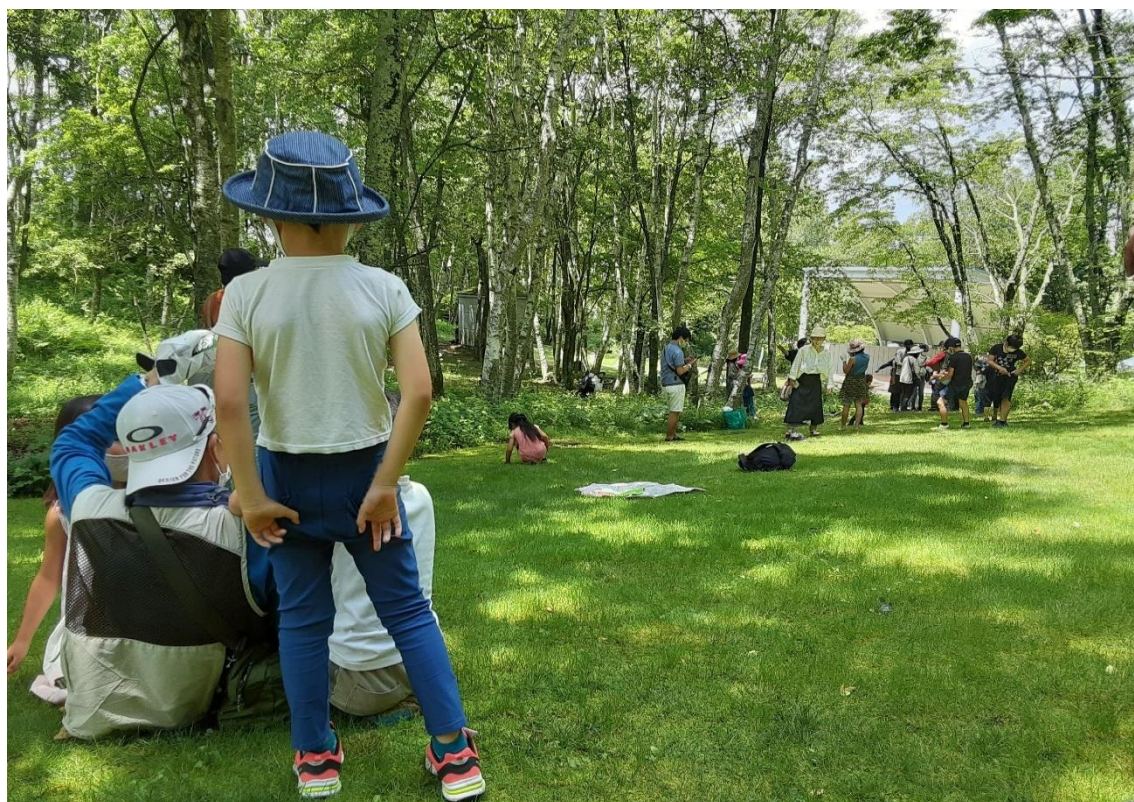
—子育て環境について、実際どうですか？

実は、最初は少し、戸惑いました。こちらは幼稚園が少ないので、共働きではないご家庭のお子さんも、保育園に入園されているのが一般的なことでした。東京では、保育園に通わせる家庭＝フルタイム共働き家庭というのが当たり前でしたから、園の運営もフルタイムのワーママに合わせて設計されています。諏訪市の保育園は、16時で降園するお子さんのご家庭が半分くらいあって、その後は『長時間保育』という扱いになりますよね。働く家庭の子どもたちが特別扱いみたいな感じになっちゃうのには、ちょっと戸惑いました。

今では、子どもも『16時で帰る子』と『長時間の子』が居る状況に慣れてくれたので心配はありません。

『森のほいくえん』的な自然保育をイメージしていましたが、そこまで都市部の保育園と変わりません。園庭が広くて遊具が沢山あるのは、確かに田舎の保育園的ですけどね。毎日、どろんこっといった感じでもありませんし、そもそも、冬になれば外遊びが出来ないですね。比較的、室内で落ち着いて過ごしている印象があります。

お休みの日に子どもと出掛ける場所に、一番、環境の変化を感じます。車で30分走れば豊かな森が広がる八ヶ岳エリアに到着します。夏はお隣の山梨県にある北杜市まで川遊びに行きます。今年の冬にはスキーデビューする予定です。初心者は、市内の霧ヶ峰スキー場で充分楽しめるので、家族連れにはとても有難い場所です。アウトドアのアクティビティを気軽に楽しめるのは、子育て中だからこそ嬉しいです。色々な経験をさせてあげたいな、と思います。



—移住してみて、諏訪市の一番の魅力はどんなところでしょう？

近隣の市町村も含めて、自然あふれる田舎の生活にも、便利な都会の生活にもスイッチできるのでしょうか。映画を見たくなったら、車か電車で近隣市に行きます。劇場も近隣に2か所と、もちろん松本市にも。劇場通いと映画館通いは、諦めることなく今の生活にも残っていますね。それが出来ることが有難いし、諏訪市に住んでいるメリットだと思っています。八ヶ岳エリアへのアクセスも容易です。諏訪市自体の魅力を語っていないようで恐縮ですが、住む場所としては周りの環境やアクセスの良さは、とても大事なので。

諏訪市は温泉や花火など観光地の側面もあれば、大きな精密の会社さんもあって工業のまちでもある、色々な面のある市ですよ。私は、諏訪湖や諏訪大社を中心に広がるこの地域の歴史や五蔵が立ち並ぶ酒蔵通りなどの雰囲気も大好き。最近、移住者の新しいお店も増えていて、どんどん多面的な街になっていると感じます。このあいだ、実家の両親がこちらに遊びに来たのですが「都会だねえ！！」って言っていました。歴史ある町並みや、諏訪湖周りの飲食店も多さは観光地的で、一方で大きな工場もある。いろんな場所へのアクセスも良い、という、諏訪市への率直な印象だろうな、と感じます。



—最後に、諏訪市に移住を考えている方へのアドバイスをお願いします。

私たち家族は、「試しに引っ越してみよう」という感じで移住を決めました。3年試しに

住んでみて、ダメなら夫婦どちらかの実家へ戻っても良いし、東京に戻っても良い。一生の場所を決めようなんて考えていたら踏み出せなかったような気がします。

勢いで移り住んでみた私たち家族ですが、色んなご縁にも恵まれて、楽しく暮らしています。インスピレーションとご縁を大切に、飛び込んでみるのも良いのかもしれません。